平成25年度 都市景観大賞
「都市空間部門」受賞地区の概要及び
「景観教育・普及啓発部門」受賞団体の活動の概要

「都市景観の日」実行委員会
# 都市空間部門

## 受賞地区一覧

### 大賞 国土交通大臣賞

<table>
<thead>
<tr>
<th>地区名</th>
<th>地面積</th>
<th>応募者</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>八条ケ池周辺地区（京都府長岡京市）</td>
<td>約 12.8 ha</td>
<td>長岡京市</td>
</tr>
<tr>
<td>城下町長府地区（山口県下関市）</td>
<td>約 51.8 ha</td>
<td>城下町長府景観協議会、下関市</td>
</tr>
<tr>
<td>熊本駅周辺地区（熊本県熊本市）</td>
<td>約 63.2 ha</td>
<td>熊本県、熊本市、熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 優秀賞 財団法人都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞

<table>
<thead>
<tr>
<th>地区名</th>
<th>地面積</th>
<th>応募者</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>日立駅周辺地区（茨城県日立市）</td>
<td>約 4.0 ha</td>
<td>日立市、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社妹島和世建築設計事務所</td>
</tr>
<tr>
<td>高松丸亀町 G 街区地区（香川県高松市）</td>
<td>約 12 ha</td>
<td>丸亀町グリーン株式会社</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 特別賞 財団法人都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞

<table>
<thead>
<tr>
<th>地区名</th>
<th>地面積</th>
<th>応募者</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>肥前浜宿地区（佐賀県鹿島市）</td>
<td>約 15.4 ha</td>
<td>肥前浜宿まちづくり協議会、特定非営利活動法人肥前浜宿水とまちなみの会、鹿島市</td>
</tr>
<tr>
<td>鹿児島市地区</td>
<td>道路と隣接団地</td>
<td>鹿児島市</td>
</tr>
<tr>
<td>市電軌道敷設緑地整備事業（鹿児島県鹿児島市）</td>
<td>8.9 km</td>
<td>35,000 ㎡</td>
</tr>
</tbody>
</table>
総評

審査委員長 陣内秀信

都市景観をテーマとする街づくりは、今や日本各地で定着した感が強い。今年も多種多彩な内容の多くの応募があり、景観への取り組みが様々な展開していることを裏付けてくれた。現代的な大規模開発の事例、小さな規模の伝統的な町並み景観づくり、水辺の試みなど、ジャンルもバランスのよい広がりを見せた。とはいえ、伝統的な町並みに関しては、全国的に著名なものの応募が多く、いささか寂しい。今後へ期待したい。

今年の特徴の一つは、駅周辺の開発が多かったということにある。日立駅、熊本駅というJRの駅前にじめ、駅周辺の地区の景観形成での応募が目立った。経済的事項もあって我が国での大きな規模での開発、都市づくりがしにくい状況にあって、駅周辺にそのエネルギーが集中する傾向が見えてくる。とはいえ、この都市景観大賞の主旨からして、象徴的な駅舎建築だけ見事につくられても意味がなく、広場および周辺が一体となって優れた景観を生むことが求められる。

大賞を受賞した3件は、各ジャンルを代表するようなとりわけ優れた事例であった。熊本県熊本市の「熊本駅周辺地区」は、多分野の専門家からなる地域空間デザイン会議のもと、駅前に楽しく高くとどりのある美しい空間を実現し、水辺も含む周辺との魅力的な繋がりも生まれており、その総合的なデザインの力が圧倒的な評価を得た。

長岡市の「八条河池周辺地区」は、池周辺の区域に高度規制をかけ、開放的な眺望を阻害する建物が建たないようにし、水と緑のランドスケープを継承するとともに、視点場としての池からの背後の山並みへの眺望を守っている努力が審査員の共感を呼んだ。

下関市の「城下町長府地区」は、武家屋敷の土塀や門などが独特の雰囲気を醸し出す歴史的な町並みを、地域住民主体の街づくり協定によって保存し、地域資源を市民生活の舞台として活かしている点が高く評価された。

優秀賞のうち、日立市の「日立駅周辺地区」は、立地条件を活かし、世界的に著名な建築家がデザインで、青い海と大きな空に聞く展望スペースを組み込んだ魅力的な施設を駅前広場周辺に実現し、目を引いた。高松市の「高松丸亀町G街区地区」は、中心市街地の活性化、個別化の有力な一手法として評価された。

鹿児島市が長年取り組んできた「市電軌道敷緑化整備事業」には、その継続的な努力が生んだ優れた成果に対し、ユニークな茅葺町家群からなる鹿児島市の「肥前宿地区」には、これからつくり上げる期待を込めて、それぞれ特別賞が与えられた。

応募を見ると、南・西の日本に多く、東・北に薄い傾向が目立つ。特に応募がなかった東北地方には、次年度に是非とも期待したい。
大賞 国土交通大臣賞

八条ヶ池周辺地区

■所在地：京都府長岡京市
■地区面積：約12.81ha
■設営者：長岡京市

■地区の概要

当地区は長岡京市内にあり、三条長岡天神駅から徒歩6分。JR長岡京駅から徒歩14分と、市の中心市街地に近い場所にあらわる。広大な池と桜並木、本堂の観音堂は幕末のキリシタ（ロシタ）の存在を有する緑豊かな空間を維持する地区である。もともと本市一帯を治めていた八条宮家の所有する灌漑用の蓮池を、管理主体が市に移行後、市町村シンポジウムを基盤とした事業の一環として、中島の拡幅や水上橋の設置、遊歩道の整備等を行った。加え、八条ヶ池周辺一帯は、第１種特別地域の指定を受け、その結果、その周辺地域の売払い、飲食を禁止された落着いた建物が並び、長岡天満宮の鎮守の森と協調した一体感のある街が形成されている。なお、各シーズンには市民による様々なイベントが開催され、周辺自治体をはじめ遠方から観光客が訪れる。催しの時期に関じ、年間を通じて散歩コースとして親しまれ、市民の憩い・交流の場として機能し、長岡京市を象徴する場所として市民にも深く愛される場所となっている。

■審査講評

古くは「長岡天満宮」の都が置かれ、王城の地として栄えたことに始まり、その後、それらの時代の創成者によって環境整備が進められてきた歴史的景観を心に刻まれた都市である。また、歴史都市・京都と高宮・大阪の中間に位置する地の利と西山の豊かな自然から風光明媚な都市環境が整っている。対象地区はその中心に位置し、長い年月の中でじっくりと育まれた歴史的景観生活環境の融合が見られる好例と評価できる。

長岡天満宮の前池として遊園地用水を用いて造営された八条ヶ池のほとりから遠く西山を望む景観は美しく、西山全体の稜線を損なうことのないよう市街地には１種・低層、１種・中高层住宅地等が設けられており、市全体の景観を守っている。水路を渡る木橋、水際線から城を望む老ボートの足場とともに心地よい景観を形成している。加えて対象地区内の住宅地は歴史地区に位置付けられ、また景観条約によってコントロールされており、天満宮及び公園の縦線や連絡線と沿っての街並が形成されている。

この水路、縦線、生活が一体となった景観は観光的価値を高くすることにもつながっている。また、四季を通じた様々な風景を行うことで広く市民に愛される場となっており、今後も市民交流の中心として多くを期待できる。現在、長岡京は京都や大阪のベッドタウンとして利便性の高い都市でありながら、歴史に膸された景観を存続させ、市民に愛され続けるよう町民の協力努力はそれによって創出される景観的価値とともに充分大賞に値する。（富田）
大賞 国土交通大臣賞

城下町長府地区

■所在地：山口県下関市
■地区面積：約51.8ha
■応募者：城下町長府景観協議会、下関市

■地区の概要

当該地区は、東開御殿跡に面した海岸沿いに位置し、土壁や門など武家屋敷の遺構が残る歴史的地区である。現在も江戸時代の町割りや道路がほぼそのまま残されており、石垣・編組と背景となる豊かな桜が織りなす街路風景では、城下町の風情が濃縮している。また、近隣の商店街は昭和の街並みを形成しており、一つの地区内で、江戸期から昭和期までの歴史や伝統、街並みが自然に味わえる地区となっている。

整備前は高層マンションや洋風建築物等、歴史的な街並みにそぐわない建築物の建築によって城下町長府の趣や落ち着きのある住環境が損ねられていたが、伝統的な街並みの保全を図るとともに、快適性の高い住環境の整備を推進していくため、行政による住居環境整備事業の実施及び地域住民の街づくり協定締結等により、城下町長府ふるさと街並み景観が形成された。

■審査講評

城下町長府地区は、古事記や日本書紀にも記された1800年歴史の町である。当該地区は、末広神社を中核として町が形成されており、長府藩5万石の古い街並みと鎌倉時代の神仏具象形式の前田家の功山寺をはじめとする社寺を残すほか、旧山陽道沿い及び末広神社参道に長府商店街が存在する。鎮に近い場所には武家を置き、外れにつき従来の米居屋敷を配し、山陽道沿って町人住むという城下町としては珍しい配置の町割りが維持され、中世以降の町並みの雰囲気を今に伝えている。この地区では、平成4年から歴史的地区環境整備街路事業がはじまり、平成6年に城下町長府まちづくり協議会が設立、平成7年には官民一体となった「街づくり協定」が結ばれた。平成8年には、「下関市長府地区街並み環境整備地区デザインマニュアル」を策定し、街並み整備助成事業や市単独の景観まちづくり支援事業により、4地区及びその周辺地域51.8haの広い地域において住宅地や商店街の整備が行われ、結果として、江戸期から昭和までの歴史や伝統、水と緑が織りなす独特の景観が生まれ出し、末広長屋のある古江小路地区や狭い路地の続く金沢小路などでは、往時の風情をそのまま残している。地域では、元町団体を中心にワークショップやクリスマスイベント、地区内で流れる薬用川水道保存プロジェクトなど、活発な活動がとされている。また、近年では古民家を再利用した店舗や飲食店などにも新たな業の出店が出ており、景観向上による地域活性化効果も出てきており、観光客の増加に寄与している。さらに、城下町長府景観協議会を設立し、景観協定の締結を目指して活動が始まっていていることから、国土交通大臣賞にふさわしいとする。
大賞 国土交通大臣賞

熊本駅周辺地区

■所在地：熊本県熊本市
■地区面積：約63.2ha
■応募者：熊本県、熊本市、熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議

■地区の概要
当地区は熊本市にあるJR鹿児島本線の熊本駅周辺に位置する。熊本の東の玄関で交通の要衝でありながら、市街地の中心部から約3km離れていたこともあり、整備前は規模の大きな都市機能の集積にとどまっていた。九州新幹線の開業、在来線の高架化の計画により、分析されていた東西の地区が平面を連結するため、両側では土地注整理事業を施し、東西の駅前広場の整備を図り、東側では市街地再開発事業を進め、また合同庁舎の移転を進め、周辺の都市計画道路の整備を行った。駅前広場では、交通機能が再現されながら駅利用者が待ち時間を楽にと過ごせるような広場のある公園のようであるが、日常的に通勤、通学や散歩などをする住民の方にも楽しめる通りや場所となる駅のような公園として、様々な関係者との協議の下に計画を策定し、市民に機能が無く相互に役立つような都市デザインの調整を行った。

当地区の整備は新幹線開業と在来線高架化を目的とする段階を整備で進めており、県と市は、熊本駅周辺地域における良好な都市空間の形成を図るとともに、事業主体間の調整によるデザインの統一性や長期にわたりのデザインの一貫性を図るシステムを構築するため、「熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議」で計画、設計、施工の期間だけでなく一期工事完成後も二期工事に向けて日々の社会状況に合わせた計画の見直しを継続的に行っている。

■審査講評
本計画は、熊本駅周辺の駅前広場、街路、河川などの公共空間を一体的に整備したものである。計画の実施にあたっては、「熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議」が組織され、各事業者と市民をつなぎ、きめ細かさの調整が行われた。その後で「熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議」は組織され、各事業者と市民をつなぎ、きめ細かさの調整が行われた。その後で「熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議」は組織され、各事業者と市民をつなぎ、きめ細かさの調整が行われた。その後で「熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議」は組織され、各事業者と市民をつなぎ、きめ細かさの調整が行われた。その後で「熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議」は組織され、各事業者と市民をつなぎ、きめ細かさの調整が行われた。その後で「熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議」は組織され、各事業者と市民をつなぎ、きめ細かさの調整が行われた。その後で「熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議」は組織され、各事業者と市民をつなぎ、きめ細かさの調整が行われた。その後で「熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議」は組織され、各事業者と市民をつなぎ、きめ細かさの調整が行われた。その後で「熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議」は組織され、各事業者と市民をつなぎ、きめ細かさの調整が行われた。その後で「熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議」は組織され、各事業者と市民をつなぎ、きめ細かさの調整が行われた。
優秀賞（財）都市づくりパブリックデザインセンターリーズ長賞

日立駅周辺地区

■所在地: 茨城県日立市
■地区面積: 約4.0ha
■応募者: 日立市、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社妹島和世建築設計事務所

■地区の概要

当地区はJR常磐線日立駅とその周辺を含む地区である。都市
拡張性的強化及び流通人口の拡大を図るために、日立駅周辺整備及び
周辺地区整備が進められており、東西大震災を乗り越え、平成
23年4月、日立市の新しい玄関口となる日立駅が誕生した。日
立駅自由通路と構上駅舎は、周辺環境になじむよう高さを低く抑
え、平面的に広がりながら、自由通路東西の公共施設や駅前広
場へと繋がり、一体的なまとまりがあり上げている。建物全体は
透明ガラススクリーンに覆われ、他に建物を見ない至る場所から
太平洋を一望できる開放的な魅力ある空間を創出している。

両端に位置する日立市は、鉄道事業者が事業主体である駅舎の
整備と自由通路を始めとして市が行う関連する都市基盤整備及び民
間施設整備等について、一体的に取り組むのがデザインによる景
観形成を行い、まちの顔を一新する都市空間を実現するため、
「デザイン監修者（妹島和世氏）」を配置付ける。デザイン監修者
が設計から工事に至るまで全ての事業に関わることにより、建築
と土木を融合した連続性、一体感のあるデザインの実現に至った。
その結果、歩行者通路点である駅舎、多様な交流を育む交流拡
点として、訪れた人々の記憶に残り、明日への生きる活力を与える
場所となった。

中央口駅前広場より東を見る。施設が連続してまとまりある空間を創る、屋
根の高さを抑え、スカイラインとして一新するとともに、舗装面においても
配置に統一性を持たせる配慮を行った。

■審査講評

本地区は、鉄道事業者（東日本旅客鉄道株式会社）が事業主体である駅舎整備及び自由通路、駅
前広場を始めとする都市整備計画（自由通路・駅
前広場・駅舎）を一体的に実現するため、全体を統括するデザイ
ン監修者（妹島和世建築設計事務所）を配置付けて実施してきた。関係者が
一堂に会してデザイン監修会議を設置、運営し、一体的に整備
のための設計を実現することに成功している。具体的な空間の設計の為には、海への近接性を強化し
た新たなピーチポイントを巧みに創出した点が特筆に値するし、駅舎・駅前広場を含めて
高さを抑えて、軽やかで連続的な空間デザインを実現している点
が高く評価される。

今回の申請は鉄道施設と駅前広場の一部など近年整備が実現し
た部分を対象としたものであったが、今後も日立駅周辺の都市
整備計画を進めていくとの意図がうかがえる。設計者の意図を
実現することで、来客の滞在時間を増やし、観光資源として
活用できる地域の形成に寄与することを期待したい。（岸井）

山側と海側をつなぐ自由通路と構上駅舎、日立の東海と大きな空、周辺
環境にとけむよう高さを低く抑え、一体的な空間を創出する。

駅コンコースから東側を見る。日立の海を感じられる場所。柱などがある防音壁
やかな構造物とともに、ガラススクリーンを全面使用することにより、海
やまちの風景を遮らず開放性を高め、日常的に視すやすい空間を実現している。

自由通路東側壁の展望スペース。眺望を遮ることなく海を一望でき
る。自由通路東側壁の展望スペース。眺望を遮ることなく海を一望でき
る。
優秀賞　（財）都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞

高松丸亀町 G 街区地区

■所在地　香川県高松市
■地区面積　約 1.2 ha
■応募者　丸亀町グリーン株式会社

■地区の概要

当地区は、瀬戸内の高松（香川県高松市）の中心部に位置する、アーケード街である丸亀町商店街に面した区域を中心に、高松市の飲食街を取り込んだ形の再開発事業で誕生した地区である。郊外への大型店の出店ラッシュによる中心市街地の空洞化が危惧される状況のなか、高松市中心市街地活性化の考えに基づき、錦鶴の再構築を目的として再開発が進められ、2014年春に竣工、オープンした。

嶋土地中町に庵を営むことの核となる広場（約 100 坪）、屋上部分には壁掛け図の庭園を設置し、商店街に足を運ばない来場者が観えるゆとりある空間、イベント等を行うコミュニティ拠点空間、安心して子供を遊ばせる空間を創出した。また、商店街に面した部分の壁面後退、建築物の高さ規制等を設け、土地の合理的かつ健全な高度利用、中心商店街としてふさわしい雰囲気と和風のとした街並みの形成、自転車利用が多い高松の特徴を加味したゆとりある歩行空間を創出する等、各駅点のまち作りに取り組みが行われている。その他、施設改修床所と同様に、広場を通りたくなる工夫として、ショーウインドウを構成化し、シャッターのない街づくりを実現する等、様々な取り組みを実施しており、その結果、開業後の商店街の通行量が増加する等の賑わいが生み出されている。

■審査講評

高松の丸亀町は、いまや商店街再生の成功例として全国的にも知られる観光地となっている。その名を聞いて人々が津軽海峡を駆けぬけ、あのガラスのドームであろう、地方都市の商店街再生に成果を挙げている成功事例はもちろんなに全国にあるが、そのテーマは、過去の居場所とみなしきる人々の恋、あるいはモニュメントであって、パッシブな観光地として印象づけられ、差別化される事例が増えつつある。そう考えると、今回の受賞モデルの G 街区は、我々のドームのある通りと呼ばれる延長線上にある。このいかにも記念すべき場所は、丸亀町グリーンというビル名前で変化（ヘンジ）したが、丸亀ドームと対照的、直接的な支えとなりとしたファサードと屋根に光が充ちた半屋外のデザインとして、やはり視覚的に捉えられるべき、街路幅員（D）と建築高さ（H）の比、D/H とは、都市デザインの専門家にはなじみの指標だが、それを事業できっちり位置づける者は、まず間かか。適度な曲面感が実現している。いうまでもなくこの空間を見つめることは目的ではなく、高いと暮らす再生のための事業であり、そのための苦労は計り知れない。しかしそれをきちんと目に見える姿勢で印象づけること。本賞にふさわしい成功事例である。（他々）
特別賞
（財）都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞

肥前浜宿地区

■所在地：佐賀県鹿島市
■地区面積：約15.4 ha
■応募者：肥前浜宿まちづくり協議会、特定非営利活動法人肥前浜宿水とまちなみの会、鹿島市

■地区の概要
当該地区は、旧長崎街道多良海道沿いに有明海に注ぐ浜川の河口近くに位置する。JR肥前浜駅前につながる駅前通り地区、酒蔵が建ち並ぶ酒蔵通り地区、港町の住金・南航津地区からなり、江戸時代からほぼ変わっていない地割とともに、江戸末期から昭和前期にかけての伝統的な建物が多く残る地区であり、浜川を挟んで、それぞれ特微的な景観を形成している。

地区内には伝統地区の保存物件として、建造物が約160件指定されており、平成18年18年重伝地区選定に伴い、伝建事による伝統的建造物の修理及び非伝統的建造物の修繕、水路等の整備が徐々に進められている。あわせて、街み環境整備事業による住宅等整備、公園整備、道路改築、電柱埋設、防犯灯設置等の整備も進んでおり、年々美しいまちなみへと進化している。

なお、まちなみ保存のきっかけとなった継続的な地元でのイベント開催、地元住民の共同の受賞、ボランティアガイドの育成等、地域活性化のためのソフト事業の探索効果が観光客の増加に繋がっている。

■審査講評
対象地区は平成18年に重要伝統的建造物群保存地区の指定を受け、平成15年頃より地元で盛り上がっていた歴史的な街並みを活かした街づくりに邁進してきた。指定地区は浜中町八木本宿地区、浜長崎町島宿町地区、日地区に伝統的建造物（建築物）は160件指定されている。指定から7年間のうちにこのうち36件一部年度にがなされる再評価、修復を終えてきた。審査のため現地を訪れれたが、修復が続き歴史的街並みの雰囲気がある箇所と手つかずでそういった趣を残すままの箇所の差が大きい。事前の下調べ時にみた写真美観は一層整備が進んでいた。いずれも十分ではなく道路など公共施設部分の整備や、箇所により異なる整備状況、また構造の差が多いため雰囲気がある箇所は限定的であるなど、都市の景観整備の実現を考えると、今回訪れた地域は、ここが受賞地区なのかと疑問を持たれる場所も未だ多く残っている。しかし数年でどこまで整備ができるか、現地調査を含めた再評価、さらに都市整備の意義を認識し、再評価の必要性を実感させた。このため、引き続きスローライフに整備が進められ、数年の内に対象地区の多くの場所で良好な景観が作られることが期待されて、特別賞として表彰することとしたものである。（高見）
特別賞 (財)都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞

鹿児島市地区 市電軌道敷緑化整備事業

■所在地：鹿児島県鹿児島市
■面積：8.9 km²
■広域：鹿児島市

■地区の概要

鹿児島市は、鹿児島中央駅に挟まれ、商業施設が集積した駅ビル、「南の交流駅・鹿児島駅」の玄関である鹿児島中央駅から、各種商業施設、オフィス、南九州地区の繁華街、宮方駅など様々な高次都市機能を集積する市のまちの顔として発展してきた都市部地区である。

鹿児島市は、平成18年から24年までの7年間にわたって、道路と併用する路面電車の軌道敷緑化事業を実施した。延長8.9km、芝生面積35,000㎡は、全国一の規模である。中央分離帯の照明ボックスや花壇、車道境界の植栽や架線についても、景観的な配慮をしている。また、16cmしか敷設基盤が確保できないという条件で、火山噴出物を利用したシラス緑化基盤を開発したことと、さらに芝生の維持管理のために、「芝刈・雨水電車」を開発したことなどは大変ユニークな取り組みである。

この軌道敷緑化事業は「景観・魅力の向上」という点から、市民利用者から80％、沿線住民や従業者からは86％という高い評価を得ていると共に、地表面温度の低下、周辺騒音の低減にも寄与している。このことから、本事業は、景観と環境の両面から高く評価することができる。

今後は、本事業を契機として、事業が実施された道路全体の景観改善、さらには沿道建物の景観整備へと事業がより拡大展開していくことを願っている。（社刊）
## 受賞団体一覧

### 大賞 国土交通大臣賞

<table>
<thead>
<tr>
<th>活動名</th>
<th>所在地</th>
<th>応募者</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>子どもが参画する歴史的建造物の景観再生プロジェクト 一出会いから震災復興まで－</td>
<td>宮崎県台東市</td>
<td>建築と子どもネットワーク台東</td>
</tr>
<tr>
<td>関門地区（北九州市・下関市）景観ウォッチング＆セミナー</td>
<td>福岡県北九州市及び下関市</td>
<td>公益社団法人 福岡県建築士会北九州地域会・山口県建築士会下関支部・関門景観協議会（下関市・北九州市）</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 優秀賞 財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞

<table>
<thead>
<tr>
<th>活動名</th>
<th>所在地</th>
<th>応募者</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>そらち旧産炭地域における“炭鉱の記憶”の保存・活用</td>
<td>北海道空知地域</td>
<td>特定非営利活動法人炭鉱の記憶推進事業団</td>
</tr>
<tr>
<td>郷土への誇りと愛着を育む「家康学習と景観まちづくり学習」</td>
<td>愛知県岡崎市</td>
<td>岡崎市大樹寺小学校</td>
</tr>
</tbody>
</table>
大賞 国土交通大臣賞
子どもが参画する歴史的建造物の景観再生プロジェクト −出合いかえ震災復興まで−

■所在地：宮城県仙台市
■応募者：建築と子供たちネットワーク仙台

■活動の概要
仙台市において、建築と子供たちネットワーク仙台（建築・デザイン関係の専門家・行政職員を中心とし、子供たちの創造力を育むための教育活動を実施する、2001年に仙台市北区に新設された団体）が、震災で被災した地域の子供たちに対する環境教育を目的として活動している。子供たちの参画によって再創された地域の景観は、地域の子供たちが再構築することを可能にしている。

■審査講評
2011年の活動は、地域の子供たちの参画によって再構築された地域の景観を、地域の子供たちが再構築することを可能にしている。

大賞 国土交通大臣賞
関門地区（北九州市・下関市）景観ウォッチング＆セミナー

■所在地：福岡県北九州市及び近隣 下関市内一円
■応募者：公益社団法人福岡県建築士会北九州地区会、福岡県建築士会下関支部、関門景観協議会（下関市・北九州市）

■活動の概要
関門景観は、関門海峡及び閉じ込められた地域における自然環境、歴史や文化が構成する街並みを含む地域である。この地域の子供たちが再構築することを可能にするため、景観ウォッチング＆セミナーを実施している。

■審査講評
活動の意義は、地域の子供たちが再構築することを可能にするため、景観ウォッチング＆セミナーの実施を評価している。
優秀賞
（財）都市づくりバリアフリーデザインセンター理事長賞

そらち旧産炭地域における“炭鉱の記憶”的保存活用

■所在地：北海道知床地域
■応募者：特定非営利活動法人炭鉱の記憶推進事業団

■活動の概要
北海道知床産炭地域は明治12年の官営内炭鉱（三笠甲）開鉱から始まるが、平成7年の空知炭鉱を最後に区域内産炭の炭鉱は全て廃山し、今日の北海道を語る上で欠くことのできない文化遺産である炭鉱の歴史とその遺構、重要な施設跡、街並みは失われつつある。

わが国の近代化を支えた空知地域の炭鉱、今日残る“炭鉱の記憶”を地域資源として、保存、活用し、地域の歴史・文化を伝え、また将来につながる地域づくりをめざし、平成19年に特定非営利活動法人「炭鉱の記憶推進事業団」が設立した。

見学ツアーや新たな価値を見出す場（炭鉱遺産を選舞台としたアートプロジェクトの開催等）の活用、個人でも見学、歩き歩きができるよう、炭鉱の記憶フットパスマップを作成、配布する等、次世代への伝承を地域の皆さんや専門家とも連携し行っている。炭鉱施設のその非日常の空間の魅力とともに、エネルギーやコミュニティ、命など炭鉱地域ならではのテーマで教育や観光への取り組みも行っている。

■審査評価
北海道知床の炭鉱産業は、1879年（明治12）年にはより、その後日本の近代化に大きく貢献してきたが、エネルギー革命および海外炭の増産によって、1995年（平成7）年には完全閉山となった。電力、石油の網にこの広大な地域には、近代の産業文化遺産と呼べる貴重な空知駅や駅舎、建築、街並みが現在も残っているが、次第に失われる危機にある。

このような状況に対して、NPO法人「炭鉱の記憶推進事業団」は2007年（平成19）年に設立され、岩見沢駅前の「そらち炭鉱の記憶マリノソリューション」を拠点に、炭鉱遺産を舞台にしたアートプロジェクト、「次世代へ伝える、子どもワークショップ」、「以前遊ぶ子供の炪と遊ぶ子供の歩く（炭鉱）の思想プロジェクト」、「炭鉱の記憶フットパスマップの作成」等、様々な地域資源の普及啓発活動を実施している。その結果、近年は元炭鉱マップが生徒のツアーガイドをしたり、当時の炭鉱の様子を模型で再現するなど活発に活動し、地域の誇りやコミュニティの再生の糸口が見始められている。負の遺産をもとめられる「炭鉱都市」は、これまで景観の対象としてこなかったが、私達日本人の貴重な生活の景観歴史資源として評価すべき時期に来ている。今後の保存と活用の展開を多々に期待したい。（20月）

優秀賞
（財）都市づくりバリアフリーデザインセンター理事長賞

郷土への誇りと愛着を育む「家康学習と景観まちづくり学習」

■所在地：愛知県岡崎市
■応募者：岡崎市立大樹寺小学校

■活動の概要
徳川家康の菩提寺・大樹寺から約3km先の岡崎城を望む眺望は、徳川三代将軍家光が祖父・家康公への尊敬の念を込めて、今堂から三門、総門を通して、その真中に岡崎城が望めるように仏像を配置したことに由来し、約370年の長い間に渡って、眺望観覧の下の住民等の思いを由って守られてきた景観「ピスタライン」と呼ばれ、広く親しまれている。このピスタラインは、ライン上で生活する生活住民等の理解・協力のもと、岡崎城への眺望を妨げないように建物等の高さに配慮するよう改築されてきたが、平成24年、岡崎市は、景観法に基づく景観整備や景観条例を制定し、法的措置を伴う高さの規制等の保全策を講じた。

本校の中核となる「総門」を基盤として、各学年の発達段階に応じて教材化し、体験・体感的な活動を中心に据えて実践を行うことで、意識に関心の高揚につなげ、郷土への愛着を深め、地域の一員として今後もピスタラインの景観を守り受けていこうという誇りの醸成を図っている。

■審査評価
地域が生んだ英雄をもとに歴史的景観を保持することの価値を認めるための活動であるが、これに留まらない特色がいくつか認められる。一つには、地域が生んだ英雄の生涯から、その人物を貫くするだけでなく、自立というキーワードを設け、6年間一貫した教育活動が行われている部分である。また、所縁にある史跡や建築物を教材として学習するスタイルから、条例等の法令規制がなくとも地域住民の手で、370年の長い間にわたって郷関を保持してきた地域の価値を学ぶという部分にも高い評価を与えたい。そこには、景観や建造物のそれらの価値を認め、それを愛し持つ姿こそ大切であるという思いも込められている。そして、発達段階に適まるカリキュラムの構築により、各学年の児童が、地域社会との関わりや連携を持つよう工夫されている点もよくできている。

カリキュラムの中核を大樹寺小学校ならではの特色がある上、自立という児童の成長につなげようとしている点も踏まえ、学校現場における的だった実践の一つといえる。（大学）
平成25年度 都市景観大賞
「都市空間部門」、「景観教育・普及啓発部門」について

I 都市空間部門について

1. 表彰目的
都市景観大賞「都市空間部門」は、良好な都市景観を生み出す優れた事例を選定し、その実現に貢献した関係者を顕彰し、広く一般に公にしてすることにより、より良い都市景観の形成を目指すものとする。

2. 表彰内容
① 大賞（国土交通大臣賞）---------- 原則1〜2地区
② 優秀賞 ------------------------ 数地区
③ 特別賞 ------------------------ 内容に応じ、適宜選定

3. 対象地区の要件
本賞は、街路・公園や公開空地等の公共的空間とその周りの建物・構築物が一体となって良好な都市景観が形成され、それを市民が十分に活用することによって、地域の活性化が図られている地区を対象とします。単独の公共施設、建築物、構築物は対象になりません。

4. 資料作成の要件
資料作成の要件は、大賞等に選ばれる都市景観の実現に深く寄与した地方公共団体、まちづくり組織、市民団体、民間企業・コンサルタント、独立行政法人、公団等とします。
※多くの関係者による共同応募が望ましいです。単独でも応募となります。

5. 審査
「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容審査（書類選考、現地視察）した上で、表彰地区を選定します。

6. 審査委員
委員長
小澤紀明子 東京芸術大学名誉教授
委員
松田 哲夫 高田県教委
丸川 由美 トミ・ライティングデザイン・オフィス代表取締役
国土交通省都市局総務司令長
国土交通省都市局都市環境課課長
国土交通省住宅局住宅政策局課長

II 景観教育・普及啓発部門について

1. 表彰目的
都市景観大賞「景観教育・普及啓発部門」は、景観まちづくり学習などの良好な景観に関する意識啓発や知識の普及等を行っている優れた活動を選定・顕彰し、広く一般に公にしてることにより、より良い都市景観の形成を目指すものとする。

2. 表彰内容
① 大賞（国土交通大臣賞）---------- 原則1団体
② 優秀賞 ------------------------ 数団体

3. 対象地区の要件
小学校等における景観まちづくり学習の実施や、街路や景観に関するセミナーの開催や地域の景観に関する情報発信など、景観に関する教育、意識啓発、知識の普及等を地域に根ざして行っており、その取り組みが地域の産業の景観への意識・関心の向上につながっている優れた活動を対象とします。

4. 資料作成の要件
○景観教育や景観まちづくりに関する意識啓発を行っている学校、まちづくり組織、市民団体、これらの団体を支援している地方公共団体など
○地域により差のある活動を、5年以上継続して実施している団体

5. 審査
「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容審査（書類選考、ヒアリング）した上で、表彰団体を選定します。

6. 審査委員
委員長
小澤紀明子 東京学芸大学名誉教授
委員
松田 哲夫 高田県教委
松本 直美 かずさ小学校教育長
小野寺 聡子 トミ・ライティングデザイン・オフィス代表取締役
国土交通省都市局総務司令長
国土交通省都市局都市環境課課長
国土交通省住宅局住宅政策局課長

※異なる、詳細、平成25年5月現在

■主催：「都市景観の日」実行委員会
（財）都市づくりラビリックデザインセンター、（公財）都市計画協会、（一社）日本都市計画協会、（財）都市再生機構、（財）民営都市計画機構、（社）都市設計センター、（社）街路景観整備協会、（社）日本住外住宅団体連合会、（社）景観連盟、都市景観形成推進協議会、地域景観都市連携協議会、全国街路事業協議協議会
■後援：国土交通省
■賛賛団体：
（財）都市文化振興財団、（財）計画計画研究所、（公財）街路景観整備協会、（社）日本都市計画協会、（社）都市機能環境協会、（社）日本景観整備協会、（社）都市土地管理協会、（財）都市景観センター、（社）ロンドンスケープコンサルタント協会、（社）日本下水道協会、（財）自動車製造者協議会、（公財）立地基盤環境協議会
■事務局：（財）都市づくりラビリックデザインセンター
〒112-0013 東京都文京区泉2-2-2 アベニュー前206号 TEL 03-69122-0799 URL http://www.udc.or.jp
都市景観大賞「都市空間部門」、「景観教育・普及啓発部門」
受賞地区・活動一覧
都道府県別 H23 ～ H25

### 北海道・東北関東地方

<table>
<thead>
<tr>
<th>都道府県</th>
<th>市町村</th>
<th>地域名</th>
<th>受賞者</th>
<th>年度</th>
<th>訳注</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>北海道</td>
<td>札幌市</td>
<td>札幌市</td>
<td>都市空間部門</td>
<td>H23</td>
<td>優秀賞</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>景観教育・普及啓発部門</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>宮城県</td>
<td>松島町</td>
<td>石巻</td>
<td>都市空間部門</td>
<td>H24</td>
<td>優秀賞</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>景観教育・普及啓発部門</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>三陸</td>
<td>佐渡町</td>
<td>佐渡島</td>
<td>都市空間部門</td>
<td>H25</td>
<td>優秀賞</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 北陸地方

<table>
<thead>
<tr>
<th>都道府県</th>
<th>市町村</th>
<th>地域名</th>
<th>受賞者</th>
<th>年度</th>
<th>訳注</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>北陸</td>
<td>金沢市</td>
<td>金沢市</td>
<td>都市空間部門</td>
<td>H23</td>
<td>優秀賞</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>景観教育・普及啓発部門</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>富山県</td>
<td>富山市</td>
<td>富山市</td>
<td>都市空間部門</td>
<td>H24</td>
<td>優秀賞</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>景観教育・普及啓発部門</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>長野県</td>
<td>長野市</td>
<td>長野市</td>
<td>都市空間部門</td>
<td>H25</td>
<td>優秀賞</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 近畿地方

<table>
<thead>
<tr>
<th>都道府県</th>
<th>市町村</th>
<th>地域名</th>
<th>受賞者</th>
<th>年度</th>
<th>訳注</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>近畿</td>
<td>堺市</td>
<td>堺市</td>
<td>都市空間部門</td>
<td>H23</td>
<td>優秀賞</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>景観教育・普及啓発部門</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>大阪府</td>
<td>大阪市</td>
<td>大阪市</td>
<td>都市空間部門</td>
<td>H24</td>
<td>優秀賞</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>景観教育・普及啓発部門</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>兵庫県</td>
<td>兵庫県</td>
<td>兵庫県</td>
<td>都市空間部門</td>
<td>H25</td>
<td>優秀賞</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 四国・九州・沖縄地方

<table>
<thead>
<tr>
<th>都道府県</th>
<th>市町村</th>
<th>地域名</th>
<th>受賞者</th>
<th>年度</th>
<th>訳注</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>四国</td>
<td>松山市</td>
<td>松山市</td>
<td>都市空間部門</td>
<td>H23</td>
<td>優秀賞</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>景観教育・普及啓発部門</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>佐賀県</td>
<td>佐賀市</td>
<td>佐賀市</td>
<td>都市空間部門</td>
<td>H24</td>
<td>優秀賞</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>景観教育・普及啓発部門</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>福岡県</td>
<td>福岡市</td>
<td>福岡市</td>
<td>都市空間部門</td>
<td>H25</td>
<td>優秀賞</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### その他

その他の受賞者、活動地域の情報は、下記の公式ウェブサイトでご覧いただけます。
(URL: http://www.odc.or.jp/)

※H13～H12: 都市景観「都市空間部門」「景観教育・普及啓発部門」のホームページでご覧いただけます。